

みんなで作ろうわたしたちのまち 加美北地域おとなの学校

平野区未来
わがまちビジョン

和っしょい!
ひらの

平野区地域福祉
アクションプラン

～ひらの教育委員会～

平成20年度地域福祉アクションプラン推進フロンティア事業

昨年度は、住民すべてが心のかよい合っているまちにするための『人づくり講座』として、『住民参加によるメンタルバリアフリー推進事業～含翠堂(がんすいどう)の“こころ”に学ぶ人づくり活動～』を実施いたしました。今年度は、未来を担う大切な子ども達の成長や子育て中の親を支えるための“親づくり”“地域づくり”を目指し、『おとなの学校～ひらの教育委員会～』を加美北社会福祉協議会・和っしょい!ひらの推進委員会共催で開催しました。

ひらの

区社協だより

社会福祉法人 大阪市平野区社会福祉協議会
〒547-0043 大阪市平野区平野東2丁目1番30号
平野区在宅サービスセンター
(ここにこセンター)
☎ 06-6795-2525
FAX 06-6795-2929
http://hirano.kusyakyou.or.jp/

ひらの教育委員会始動!

子ども達が健やかに、のびのびと成長するためには身近な「大人」のサポートが欠かせません。もう一度みんなで一緒に考え、学んでいこうと「おとなの学校プロジェクト」ひらの教育委員会」を立ち上げました。

少子化や核家族化、いじめや登校拒否、虐待やモンスターペアレントなど子どもや、子育て中の親を取り巻く環境は深刻です。未来を担う大切な子ども達の成長や子育て中の親を支えるためには、まず「大人」がもう一度みんなで子育てについて考え学ぶことが大切です。

家庭の役割・学校の役割・地域の役割の再認識、昔と今の子育てに関する環境の違いなどを中心にさまざまなテーマで学習し、その学習会をおし、地域の中で気軽に相談できる関係や場をつくり、安心して子育てができる「親づくり」「地域づくり」を目指します。

今年度はまず加美北地域で、少年たちを非行から守るために大人ができること、やらなければならぬことを考え、学ぼうと三回にわたって、『加美北地域「おとなの学校」』を開催しました。

おとなの学校プロジェクト ひらの教育委員会 加美北地域で開催!

第一回

「加美北地域おとなの学校」

一月三十一日(土) 午後六時三十分より、加美北小学校で「やんちゃ集団を甲子園へ導く」人間力を伸ばす監督術」と題して、東大阪大学柏原高校野球部監督の田中秀昌氏に、非行や少年犯罪の誘惑に負けないために子どもの持つ人間力を高めて更なる成長を促す監督術についてお話いただきました。

多くのプロ選手を育てた人間味あふれる話術に、中・高生の子どもを持つ方のみならず、地域で子ども達を守っていくこうと意欲を持った多くの方々が、身を乗り出すように聞き入っていました。授業の後には、学会を開き、挨拶の大切さなどについて、話し合いました。



第二回

「加美北地域おとなの学校」

第二回は、二月十四日(土)に多くの非行少年にかかわり弁護士、更生に尽力されている弁護士辻川圭乃(たまの)氏を迎えて、もし我が子や身近な子ども達が、少年犯罪に巻き込まれてしまったら、どうしたらよいのかについてお話



いただきました。罪を犯してしまつたときの手続きの流れや、どのような処分になるのかなど、現実起こる事、また対処しなければならぬことなどを教えていただきました。改めて、いじめや不登校、非行の問題にも、コミュニケーションをとることの大切さを学び、また自分分が住む、わが町をもう一度見つめなおす意味も込めたワークショップでは、理想とする町や、今自分自身で実際にできることは何かなどを、参加者全員で真剣に考え、楽しい授業を終えました。

第三回

「加美北地域おとなの学校」

三月七日(土)には、「私から始まるエンパワメント」をうかがい豊かさに・個性が輝く共に生きる社会をめざして」と題して、Y M C A総合教育センター主任の梁醸一(ヤン・ヤンイル)氏にご指導いただき、人とつながるための「人間関係トレーニング」を、いろいろな楽しいゲームを通して体験しました。強まり、地域にとつて、とても大きな収穫だとの感想が聞かれました。加美北地域に蒔かれた小さな種は、大きく育つ確かな芽を出しました。

地域で育つ

「おとなの学校」

3回の授業をおして、参加者からは、次回のおとなの学校開催の時には、是非スタッフとして参加したいとの声が多くあがり、また、今回活躍した加美北社会福祉協議会のいろいろな団体のスタッフからは、今まで以上に連帯感が強まり、地域にとつて、とても大きな収穫だとの感想が聞かれました。加美北地域に蒔かれた小さな種は、大きく育つ確かな芽を出しました。

ご寄付

ありがとうございます。

再度実施
慈善バザー

5月24日(日) 午前11:00より
場所:新聞屋さん博物館前(中央本通り)全興寺隣、平野本町4-12-3
皆様のご家庭の中で眠っている品物の提供をお願いいたします。
収益金(金額)で、平野区社会福祉協議会(ここにこセンター)に車椅子を贈呈します。
受付:3月15日(日)~5月15日(金)
小林新聞舗 流町1-4-1(地下鉄平野駅前) 品物は、お届け下さい。☎6790-0022(松沼)

だれかのために、できること。
あなたの善意が赤十字活動を支えます

国際活動、災害救護活動、医療事業、看護師養成、血液事業、救急法、家庭看護法等の講習、赤十字奉仕団、青少年赤十字、社会福祉事業
日本赤十字社大阪府支部平野地区

おたがいの
人権守って
住みよいまち

HIRANO
平野区人権啓発推進協議会

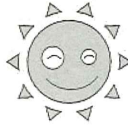
平野区社協の賛助会員を募集しています。

平野区社会福祉協議会では、誰もが、この平野区で安心して暮らせるよう、さまざまな事業に取り組んでいます。これらの事業は、各種補助金や共同募金配分金、寄付金や会費によって成り立っています。区社協では、活動の趣旨にご賛同いただき、ご支援・ご協力いただける方を、募集しています。皆様の会費は、ボランティア活動や地域活動の支援をはじめ、さまざまな区社協の活動に有効に活用させていただきますので、ご協力よろしくお願ひします。

年会費	
個人会員1口 1,000円
法人・団体会員1口 10,000円
※ただし、口数に制限はありません。	

年間を通じて受け付けていますので、直接窓口へお越しいただくか、郵便局の下記口座へお振込みください。(振込用紙に住所、氏名、電話番号をご記入ください)
【加入者名】社会福祉法人大阪市平野区社会福祉協議会
【口座番号】00970-8-139180
★すでに賛助会員としてご協力いただいている皆様には、直接、会費納入のご依頼を送付させていただきます。

平成二十年八月から平成二十一年一月までの間に、次の方々より、平野区社協善意銀行への預託をいただきました。
皆様のお気持ちに感謝いたしますとともに、区内の福祉充実のために有効に活用させていただきます。
◆善意銀行への預託◆
《金銭預託》平野区小売市場連合会、高津坂口ビル、橋口頼道、岡喜美子、長谷川ミツエ、藤本真、区社協イベント出店売上金、匿名(名)(順不同、敬称略)



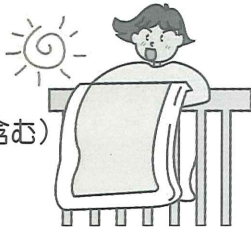
ふとん丸洗い・乾燥サービス

平野区にお住まいで高齢や障がいにより、ふとんなどを清潔に保つことが困難な方を対象に「ふとん丸洗い乾燥」・「ふとん乾燥のみ」のサービスを1年に2回実施しています。

☆対象となる方は

ふとん等を清潔に保つことが困難で

- ・ねたきりの方
 - ・高齢者のみの世帯の方(独居を含む)
 - ・重度障がい者のみの世帯の方(独居を含む)
- 以上のいずれかの条件にあてはまる方



☆利用できる寝具は

日常使っている寝具でお一人につき

- ◆ふとん2枚・毛布1枚まで

(※コタツ布団・敷パッド・絹布団は利用できません)

☆利用料金は

丸洗い乾燥：ふとん1枚200円・毛布1枚 80円

乾燥のみ：ふとん1枚100円・毛布1枚 50円

レンタル：ふとん1枚200円・毛布1枚200円

☆実施時期は

6月頃—「丸洗い乾燥」「乾燥のみ」を同時に実施

12月頃—「丸洗い乾燥」「乾燥のみ」を同時に実施

☆実施のお知らせは

広報「ひらの」(平野区役所発行)に掲載します。

- ・介護保険サービスをご利用の方は担当ケアマネジャー・ヘルパーにお尋ねください。
- ・チラシは、にこにこセンター・区役所・保健福祉センター各地域の会館などに設置します。

※次回は広報「ひらの」4月号でご案内いたします。

車いす対応自動車の貸出しサービスを行っています

車いすに乗ったまま利用できる自動車の貸出しを行っています。



- ◆ 利用時間 9:00~17:00
- ◆ 運転者は家族か知人の方
- ◆ 21歳以上(自動車保険の都合上)
- ◆ 運転免許証の写し(表・裏)

※ 運転者のいない場合は、ボランティアビューロー担当者まで、ご相談ください。



平成21年度 財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成金の申請受付のお知らせ

大阪府共同募金会では、4月1日~20日に社団法人京都馬主協会を經由して標記助成金に係る申請受付を行います。

- ・助成対象：保育所を除く民間社会福祉施設整備費(ただし、一定条件が必要ですので、詳しくは大阪府共同募金会ホームページをご覧ください。)

大阪府共同募金配分申請受付のお知らせ

大阪府共同募金会では、5月1日~20日までの期間に標記配分金の申請を受付けます。(「ボランティア活動支援配分」「安心・安全な福祉のまちづくり支援配分」は5月30日まで申請受付)

詳細につきましては、4月に掲載する大阪府共同募金会ホームページをご覧ください。

※大阪府共同募金会ホームページ：<http://www.akaihane-osaka.or.jp> 赤い羽根おおさか

※お問い合わせ：大阪府共同募金会事務局まで ☎06-6762-8717



AEDを設置しました

平成20年度共同募金配分金の安心・安全なまちづくり支援配分金で自動体外式除細動器(AED)を設置しました。

救急時に備え、にこにこセンターの1階と4階に設置し、研修を行ないました。

音声ガイダンスに従って処置を行なうため、誰でも簡単に操作でき、はじめに心電図をとり、電気ショックが必要かどうか判断してからすすめるので、迷うことなく効果的に使用できます。また、AEDと共に心肺蘇生の実施も不可欠で、処置が早いほど救命率も上昇します。

命の尊さやAEDの有用性について地域にも広めていきたいと考えています。



ご自身は数年前より、ボランティア活動を続けておられ、近隣での高齢者への配食サービスは、自転車を使用する為、雨が降ると危険であると共に、訪問先でお届けする容器が濡れるなど、不便な事情を気に懸け、小回りのきく車が必要ではないかと寄付の申し出を頂きました。

善意銀行への預託を受け、環境に優しく、低公害、超低コストの



平成二十年十一月五日、高津坂口ビルオーナー様より、高齢者食

事サービス事業、配食用の超小型電気自動車をご寄付いただきました。

「ご自身は数年前より、ボランティア活動を続けておられ、近隣での高齢者への配食サービスは、自転車を使用する為、雨が降ると危険であると共に、訪問先でお届けする容器が濡れるなど、不便な事情を気に懸け、小回りのきく車が必要ではないかと寄付の申し出を頂きました。」

電気自動車を
ご寄付いただきました
エコカーを購入させて頂きました。
高齢者宅の配食に毎日活用させて頂いています。まだまだエコカーの普及率は少なく、街中でも多くの方が関心を持ってお声を掛けて頂いているようです。本当にありがとうございます。

地域の相談窓口

「ネットワーク事務所」

“ネットワーク活動の拠点” “地域の気軽な相談窓口”

平野区内22地区にネットワーク事務所を開設しています。事務所では、「保険・医療・福祉ネットワーク推進員」が地域で一番身近な相談窓口として皆さんからの相談をお受けします。(月~金/午前10時~午後4時)

地区	場所	電話
平野	平野連合会館	6791-6662
平野西	平野西会館	6796-4678
新平野西	新平野西コミュニティ会館	6701-2420
平野南	平野南老人憩いの家	6705-7100
喜連	喜連地域集会所	6797-7038
喜連西	喜連西老人憩いの家	6705-2700
喜連東	喜連東老人憩いの家	6797-9600
喜連北	喜連北老人憩いの家	6700-4100

地区	場所	電話
長吉東部	長吉東部老人憩いの家	6706-8431
長吉六反	六反会館老人憩いの家	6701-8818
長吉六反東	六反東住宅集会所	6790-9128
長吉長原東	旧大和川小学校	6700-3729
長吉西部	川辺会館	6701-6585
長吉出戸	長吉出戸老人憩いの家	6701-7655
瓜破	さざ波会館	6702-5600

地区	場所	電話
瓜破西	瓜破西老人憩いの家	6790-2240
瓜破東	瓜破東老人憩いの家	6700-3321
瓜破北	府営瓜破住宅33棟1階東	6705-8500
加美	加美老人憩いの家	6793-5215
加美南部	鞍作公園集会所老人憩いの家	6792-1093
加美北	加美北老人憩いの家	6796-3955
加美東	加美東老人憩いの家	6792-3321

※困った事があるときは、お気軽にご相談ください。(地区により開設日・時間が異なる場合があります)

ボランティアビューローだより

平野区平野東2-1-30
「にこにこセンター内」
☎6795-2200



ハンディを持つ方とボランティアの外出交流会を開催しました

去る12月6日(土)に、ハンディを持つ方と登録ボランティアの外出交流会を開催しました。当日は、寒波で小雪の舞い散るなか、震災から14年・・・元気になった神戸北野★工房のまち&酒心館へ行ってきました。

★ 北野工房のまち

昭和6年建築の旧北野小学校を利用した施設で、神戸生まれの名店が集う工房です。工房の中は、あま〜いスイーツや点心の試食を楽しむ方でごわっていました。



★ 神戸中華 翠園

昼食は、工房近くのふだん、なかなか口にする事ができない“海鮮料理を中心とした創作中華料理”をいただきました。ボランティアがサポートをしながら楽しそうに、食事をされていました。



★ 酒心館

新酒「福寿」の試飲をいただき、ほろ酔い気分で購入物を楽しまれていました。



外出交流会は、高齢者や障がい者のみなさんに、外出の機会をつくることや、ボランティアなどより多くの方との交流を深めることを目的に、年1回開催しています。今回の交流会では、楽しそうに食事をする姿や、お互いに協力しながら買い物をしている様子など、心温まる光景が見られました。帰りのバスでは、手芸ボランティアさんからのクリスマスプレゼントを手にして“次回も参加させて!” “楽しかったわ! ありがとう!” の声に“外出交流会”が、皆さんにとって欠かせない楽しみだと感じました。

子育て支援者スキルアップ講座を開催しました!

地域の子育てサロン担当者や、子育て支援活動を行っているボランティア・ボランティアグループを対象に、10月29日(水)・11月26日(水)の2回にわたり開催し、第1回目は手作りおもちゃの紹介や手遊び・リズム遊びなど、地域の子育てサロンなどでも活かせる内容で喜連子育て支援センター上村先生・平野子育て支援センターの内田先生から楽しく教えていただきました。



第2回目は発達障害について「子どもの育ちとともに」と題して、今川学園地域生活支援センターの今木智子氏にお話を伺いました。子どもにとって、とても大切な遊びは「発達を促す」また「人との関わり」「コミュニケーションの形成」に大きな役割を持っていることなどを学びました。

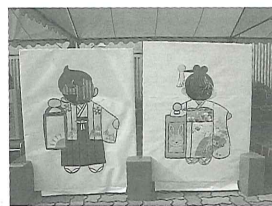
登録ボランティア

こんな活動したよ!!!

今年度も、登録ボランティアの皆さんが、区内のさまざまな場所で、いろいろな活動をされました。例えば・・・

◆ イベントのお手伝いでは・・・

- ・白玉ぜんざいやポップコーンの販売
- ・折り紙や、バルーンアートと一緒に
- ・手話歌を披露したり、手話の手解き
- ・壁面などの作成



← ボランティアの力作です!

◆ 施設では・・・

- ・趣味や特技を活かして、“歌体操・喫茶活動・書道・そろばんなど”の活動



子どもたちの笑顔がパワーの源!

◆ 在宅では・・・

- ・車いす対応自動車による送迎サービスや保育所のお迎えなどの活動

上記は、活動の一部ですが、多くのボランティアが、「自分のできることをできる範囲で」をモットーに、活発に活動されました。

ありがとう
ございました!



あなたの力、活かしませんか?

ボランティア募集!

地域の中には、さまざまな人が住んでおり、ちょっとした手助けを求めている人がいます。自分以外のことにも目を向けて、お互いに思いやり、助け合う気持ちが大切ではないでしょうか? 自分にできるちょっとした活動・・・そんな事から始めてみませんか?

● 特別養護老人ホームでの喫茶ボランティアを募集!

施設に入居されている方へコーヒーなどを作り、入居者と会話を楽しむ活動です。

【活動場所】特別養護老人ホーム 長吉(平野区長吉川辺)

【活動日時】月曜日～土曜日 13:30～15:30

※ 現在、月曜日のみ先輩ボランティアが活動中です。

ミニミニ喫茶を
開店しませんか?



● 厨房ボランティアを募集!

配食サービスやデイサービスを利用している高齢者のために、昼食を作っています。午前中は食事の盛り付け、午後は洗い物が中心の活動です。

【活動場所】にこにこセンター(平野区平野東)

【活動日時】月曜日～金曜日 9:30～14:00

※ 午前中のみ、午後からのみの活動でも構いません。

現在、先輩ボランティアが活動中です。

料理のレパートリー
が増えるかも



また、次のようなボランティア活動も随時、募集しています。

● パフォーマンスボランティアを募集!

子育て関連施設や障がい者施設、高齢者施設などで、施設の行事や日常等で趣味や特技を活かし、施設を利用している方と一緒に楽しい時間を過ごす活動です。

マジックや大道芸、音楽演奏など... ※ 無償での活動となります(交通費など、応相談) 個人での活動、グループでの活動、どちらでも構いません。



平野区ボランティアビューローでは、上記以外にも常時ボランティアを募集しています。資格の有無、年齢などは関係ありません。自分にできる“ちょっとしたこと”をお探しの方や、ボランティア活動に興味のある方は、ボランティアビューローまでご連絡を!

一時保育あり にほんごサポート ひまわり会 “ボランティア講座”

経験・資格・語学力 不問

外国から来た人たちを地域で支える

にほんごサポートひまわり会は、平野区内で“日本語教室”や“たこ焼きパーティー等の交流イベント”等を開催し、外国から来た人の支援をしているボランティアグループです。来年度、新たに“外国から来た子育て中の人のための「子育て日本語サロン」”を開催する予定です。これらの活動に関心がある方、ぜひご参加ください。

● 日 時: ①4月4日(土) ②4月11日(土) ③4月18日(土) ④4月25日(土) <全4回> ①③④14:30～16:30 ②14:30～17:00

● 場 所: 大阪市立平野人権文化センター(平野区平野市町3-8-22)

● 定 員: 30名程度(先着順)

● 対 象: 当講座の趣旨を理解していただける方

● 参加費: 1000円(4回分一括) ※1回だけ参加の場合、500円

● 申込方法: ①住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号 ⑤受講動機 ⑥講座のことを何で知ったか、をご記入のうえ、下記のいずれかの方法でお申し込み下さい。

(1) 往復ハガキで下記宛先まで(返信ハガキに住所氏名を記入) 〒547-0042 平野区平野市町3-8-22

大阪市立平野人権文化センター「外国から来た人たちを地域で支える講座」係 (2) メール申込み: にほんごサポート ひまわり会 E-mail: himawarij1511@gmail.com (件名に「講座申込」と記入)

● 一時保育: 一時保育をご希望の方は、申込み時に「一時保育希望」と明記のうえ、①保育の必要な日 ②お子さんの名前 ③性別 ④年齢をお知らせください。(保育料無料)

● 申込み締切: 3月27日(金) ※定員に満たない場合は、締切後も受付可

● 連絡先: にほんごサポート ひまわり会(担当: 斎藤)

E-mail: himawarij1511@gmail.com (件名に「講座問合せ」と記入)

TEL: 090-6676-5839 (時間帯によっては、出られないことがあります)

URL: <http://www.himawarikai200311.org>

主催: にほんごサポート ひまわり会 後援: 大阪市平野人権協会、大阪ボランティア協会

平野地域在宅サービスステーション

平成21年2月17日に「認知症について」をテーマに家族介護者教室を開催しました。

この日は地域の方8名が参加され、認知症について学べる機会をつくろうと以前、新平野西小学校5年生を対象とした福祉学習の一環として行われた授業の様子をビデオで見てもらいました。

“認知症は脳の病気”であり、覚えることや考えることが難しくなっても、心が残っているので、本人が一番つらい思いをしているということを理解しました。そして、それぞれの症状でどのように対応すればよいか、講師の松原先生のユーモアを交えた講義内容で参加者の方と一緒に和やかな雰囲気の中で学ぶことができました。

平野地域在宅サービスステーションでは、地域の皆様に施設を開放したイベント「平野いきいきフェスタ」を年に一度開催し、今後も地域の中の総合相談窓口として地域の方と協働で取り組んでいきたいと考えております。



平野区の地域包括支援センターが4月から3ヶ所に(予定)

平成18年4月から、平野区社会福祉協議会が大阪市から委託を受けて、平野区地域包括支援センターとして業務を行ってまいりましたが、区民の皆さまの利便性を考え、より身近な窓口として、新たに加美地域と長吉地域に包括支援センターが設置されることになりました。平成21年4月から、加美地域と長吉地域にお住まいの方は、それぞれの新しい地域包括支援センターが担当機関になる予定です。

なお、地域包括支援センターは、高齢者のみなさまが住みなれた地域で安心した生活が送られるように支援を行う総合機関として、市町村が設置している機関です。

*4月からの受託予定法人と担当圏域

名称	設置運営受託法人	住所	担当圏域
加美地域包括支援センター	社会福祉法人 和悦会	平野区加美北 7-1-2 (加美北地域在宅SS)	加美・加美南部 加美北・加美東
長吉地域包括支援センター	社会福祉法人 永寿福祉会	平野区长吉出戸 6-8-21 (長吉西地域在宅SS)	長吉東部・長吉長原東 長吉六反・長吉六反東 長吉西部・長吉出戸
平野区地域包括支援センター	社会福祉法人 大阪市平野区社会福祉協議会	平野区平野東 2-1-30 (にここセンター内)	上記の地域以外

高齢者・家族・地域の暮らしの相談窓口
地域包括支援センターだより

「認知症理解のための研修会」を開催しました

平成21年2月10日 クレオ大阪南にて「認知症理解のための研修会」を開催しました。(株)大起エンゼルヘルプ施設部門統括責任者 和田行雄(わだゆきお)氏を講師に迎え「認知症になっても人として生きることを支援する」をテーマに講演いただきました。

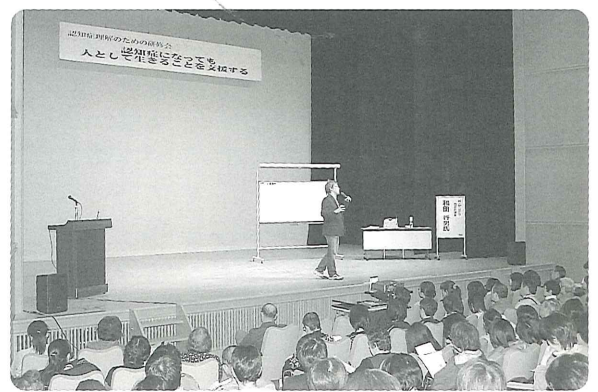
当日は足元も悪く寒い日であったにもかかわらず、389名と多くの方にご参加いただきました。今回の講義では認知症を理解するために“認知症にならないための方法”ではなく、“誰でも認知症になる可能性があり、どんな人が認知症になるのか”と視点を変えて考えることが必要だと話をされていました。

認知症の方を支援していくためには

- 近くにいる家族などが何か気になることが少しでもあればメモを取っておく。これにより症状早期発見や受診、支援に繋げていくことが可能となる。
- 専門職は本人をしっかり受け止め、本人が安心して生活できるような体制を作ることが必要。
- 家族や専門職だけでなく、隣近所が支えあう地域作りも身近な支援となる。

認知症の予防の為に

- まずは健康であること。健康な状態でなければいくら予防をしても効果はなかなか出ません。
 - 便利なものが多く暮らしやすい環境だけれど、身体を動かすためにできるだけ不便な生活を送ることを心がけること。
 - たくさん笑うこと 顔の筋肉を動かすだけでなく、脳を働かせるために大事なこと。
- といった内容の話をされました。参加者の方は笑いも交えた話を熱心に聞き、今回の講演を通じて認知症への理解を深めていただけたようで、「認知症という病を抱えた人と接することは特別なことではなく、地域でごくあたり前にできることが大切であると学びました」などの感想が寄せられました。



身振り手振りを交え熱く話をされる先生



参加者の生の声を聞きながらの講義